

報告書 1 :

mi EL Camino (2018年に実施、2019年にTOKAS HONGOで発表)

目的 :

スペインの巡礼路 (Camino de Santiago) を歩きたくてネットで情報収集しようと、たくさんの旅人のブログを読み漁った。彼らは、己の素晴らしい経験を言葉を尽くして語り連ねているが、こなれ感を出そうとするあまりどれも似たり寄ったりな経験談になっていた。

それならば私が同じ巡礼路を辿れば、この人たちの日記を借用して“私の”巡礼日記が書けるんじゃない・・・？という仮説を検証するためにこの実験を行った。

手順 :

1. 巡礼開始前に過去の日本人巡礼者達の日記 (主にネット上のブログ) をできるだけたくさん収集してプリントする。
2. その紙の束を持ってスペインへ飛び巡礼を開始。
毎晩その日の出来事を日記張に記録する際、1を物理的に切り貼りしながら記す。

結果 :

巡礼中に経験したとても多くの出来事を他人の日記にある文章で記すことができました。他人の日記に見つからない出来事については手書きで記しました。

いわば自分と他人の日記のコラージュ、もしくは「私たち」の巡礼日記が出来上がったのですが、もっと広範囲の旅行記、自分語りの文章を準備していたら私自身の言葉をさらに排除できたと思います。

「3. 旅行記を朗読する映像」中で字幕に書き起こしたのは、他人のブログから借用した文章です。

私が手書きした部分は字幕がありませんが、イヤホンで聴き取れます。が、恥ずかしいので、できれば聞かれたくないです。

これはTOKASから助成を受けたプロジェクトで発表が想定されていました。当時私は、人生の過渡期でとても大きな悩みがありいろんなことを考えながら30日間歩きましたがそこについては日記に記しませんでした。

理由は、発表の時に人に見られたくないことと (これは私が仮に公開ブログをやっていたとしても書けなかったと思います) その悩みや思考は、いわゆる言葉にならないものだったからです。

みんな同じようなことをドヤ文章でブログに書くんだなあという驚きから思いついたこのプロジェクトでしたが、ドヤ文章にならない繊細で個人的なことがきつとそれぞれの日記主にもあって、どんな経験をどう公開するかという境界線についても今後取り組もうと思いました。

中には、繊細で個人的な切実なことまで全て物語として公開する人もいて、私にはないその感覚についても、承認欲求や物語のもつセラピー性以外の視点でアプローチできたらなと思案中です。